

演習林の近況（令和7年度）

高知大学農林海洋科学部
附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター森林生産環境部門

高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター（以下 FSC）には、演習林に関係する森林生産環境部門（嶺北フィールド）と農場に関係する循環型暖地農業生産部門（南国フィールド）がある。これまで、技術職員はいずれかの部門を専任で担当していたが、近年はより柔軟に業務に対応するため両部門を共通して担当できるように体制を整えつつある。

本年度に新規採用された石谷菜津美技術職員には、両分野の業務を担当することでどちらの業務にも対応できるよう経験を積んでいただくようにしている。嶺北フィールドに関係する業務では、演習林実習や樹木学実習など森林科学関係の実習支援がある。当該技術職員の前職は森林・林業以外の分野であったため、演習林業務のみでなく農場業務についても習得しなければならない事項が多くある。しかし、着任早々にも関わらず、本学農林海洋科学部農林資源科学科フィールド科学コース前期の3年生向け実習科目である樹木学実習にほぼフルで参加していただき、樹木学実習の支援のかたわら、学生同様標本の採取・作成も行い、教職員として指導の任に堪えるほどの樹木識別の技能を取得されている。

9月中旬には、昨年は台風のため中止となった公開森林実習を実施した。本学では公開森林実習は、中四国地区の複数の農学系学部がある大学で開催している「中国・四国地区大学間連携フィールド演習」の高知大学実施実習と併催で行っている。今年度の参加者は、公開森林実習として5名、中国・四国地区大学間連携フィールド演習として8名の計13名であった（写真1、写真2）。実習の4日間のうちには雨が降る日もあったが、東団地林道を歩きながら本学演習林の多様な林分・植生や施業の様子を観察する踏査（写真1）や、毎木調査は行うことができなかったものの演習林内に設けている固定プロットの見学はできたため、プロットの過去データを用いて森林遷移に関わるプレゼンテーションを各班別に行う（写真2）など、予定していた内容はおおむね実施することができた。

また、嶺北フィールドの浦部光治係長が、今年度の全国大学演習林協議会森林管理技術賞を受賞したことは、我々関係スタッフにとって望外の喜びであった。関係各位にこの場を借りてお礼申し上げる。（森林生産環境部門長 鈴木保志）



写真1 公開森林実習における演習林内での実習風景



写真2 公開森林実習における宿舎での受講生のグループ別プレゼンテーション